



第一芙蓉法律事務所  
弁護士  
木下 潮音様

第一東京弁護士会ご所属。  
2013年4月より、荏原製作所CSR委員会アドバイザーをご担当いただいています。企業、従業員、労働組合の関係を幅広くサポートし、企業の社会的価値を向上させていくことを信条としてご活躍されています。

### 荏原グループCSRレポート2015所感

荏原グループCSRレポート2015の特徴は、その内容を2014年度の成果報告にとどめるのではなく、近い将来の目標として2019年度(2020年3月期)のあるべき姿を明示し、更に長期の成長を見据えたビジョンを明示していることです。

冒頭に掲げられた社長メッセージにおいて、2015年6月24日をもって荏原製作所の機関設計が監査役会設置会社から指名委員会等設置会社に移行したことを報告しています。そのような体制変化をもたらしたコーポレートガバナンスの強化が2008年から進められていたものであることを明らかにして、単に法令等の改正という外部要因にあわせるだけの変更ではないことが明らかとなっています。また、企業経営の基本方針である「荏原らしさ」について、事業活動にかかわる多くのステークホルダーの人権を擁護し尊重することを明示していることを述べるとともに、現状がまだ不十分であることを率直に認め、将来に向けて「そのような企業風土を変革し、国籍や性別等にとらわれることなく、多様な個性を持つ社員が、それぞれの能力を今以上に十分に発揮していく必要があります、その実現を2019年度に荏原グループがやりたい姿のひとつに設定しています。」と宣言しています。

将来の荏原グループの姿を示していく社長

メッセージはCSRレポート全体を統一するテーマとして、各部門の内容に反映しており、レポート全体を大変判りやすく読みやすいものにしています。

例えば、環境マネジメントについては、中長期環境目標2020に対して2014年度の成果を詳細に示すとともに、主要な環境パフォーマンスデータを2010年からの5年間の変化がわかる形でグラフ化しています。人材マネジメント[雇用・労働環境]の記述では、「次の100年の事業発展を支える人事施策と人材開発に取り組みます」とのメッセージとともに2019年にありたい姿へのテーマ設定がなされ、個別のテーマとしては「女性の活躍推進」と「グローバル人材の活躍推進」等が取り上げられています。更に、CSRレポート全体において、Webによる情報開示を活用する方法がとられており、CSRレポートの読者がより深く荏原を知りたいという要望に応える編集となっています。

CSRレポートは非財務情報の開示を通じて企業価値を明らかにし、企業とステークホルダーとの良好な信頼関係を維持発展させるためのものです。荏原グループCSRレポート2015は、CSRは企業が行う「善行」ではなく、「企業活動のあり方」そのものであることを十分に自覚されたレポートとなりました。